

市防災訓練実施

災害に備え初期行動を実演



▲消火器による初期消火訓練の様子

コプターによる救出救助訓練が行われました。

また、災害時に有効な連絡手段として、携帯電話による緊急速報エリアメールを利用した情報伝達訓練も行いました。

市では災害に強いまちづくりを推進するため、衛星携帯電話及び携帯タブレット端末の整備を行うなど、今後も防災対策の強化を進めてまいります。

10月5日、幸神平(つくばハイテクパークいわい)にて坂東市防災訓練が開催され、弓馬田地区自主防災組織のみなさんをはじめ約700人が参加しました。

坂東市付近を震源とする大規模な地震が発生し、市内各所で家屋の倒壊、火災が発生したとの想定で訓練が始まり、避難誘導や初期消火、応急手当、炊き出しなどの自主防災組織の役割分担に応じた初期行動の実演や茨城県防災ヘリ



▲負傷者救助訓練の様子

ばんどう まちづくり

坂東市長 吉原英一



「全国ねぎサミット

2013」&

「ばんどう食の祭典」を 開催します

秋も深まり、鍋料理が恋しい季節になりました。そして、鍋料理といったら、欠かせない食材がねぎです。納豆にねぎ、すき焼きにねぎ、そばにねぎ。このようなねぎは私たちの食生活になくてはならないものですが、いつも料理の主役としてではなく、脇役として食卓に並びます。

そんな料理の名脇役であるねぎを全国に広く情報発

信し、「坂東ねぎ」の消費拡大とさらなる飛躍を図ることを目的に、来る11月30日(土)、12月1日(日)の2日間、にわたり「全国ねぎサミット2013」が八坂公園陸上競技場で開催されます。

今回で第4回を迎える全国ねぎサミットの主役はもちろんねぎです。県内外から17の名だたるねぎの産地が集い、特産ねぎの販売や自慢のねぎ料理の提供、さらには産地のPR合戦、生産者の苦労話の披露など、イベント会場はねぎ一色に染まり、ご来場のみなさんには新たなねぎ文化に触れていただけると思います。

また、全国ねぎサミットの開催に併せ、「ばんどう食の祭典」も開催されます。昨年開催された「ご当地版坂東B級グルメフェスティバル」は、3万5000人の来場者を迎え、たいへんな賑わいをみせました。このような食を通じた賑

わいづくりが芽生え、発展を見せるなか、坂東市の特産野菜であるねぎを使った自慢料理や新たなメニュー開発による食の付加価値を全国に情報発信することにより、坂東ねぎの名を全国に高く広めるとともに、坂東市内の隠れたB級グルメや創作料理、さらには、県内外の名物料理を一堂に集め、食を通じた交流を深めることにより、坂東市の食をさらに発展させ、新たな坂東市の味、食文化に出会えるものと期待しているところです。

また、会場のメインステージで、11月30日には坂東あぴーるキャラクターの「バンドール・ばんなコスプレコンテスト」、12月1日には「Bandoo!の(野)コレクション」が開催され、ねぎサミットを盛りあげます。

多くの市民のみなさんのご来場を、心よりお待ちしております。